

2000A共同利用研究課題追加募集の審査結果について

財団法人高輝度光科学研究センター
利用業務部

SPring-8では本年4月から、新たに高フラックスビームライン（BL40XU）及び赤外分光ビームライン（BL43IR）の2本の共用ビームラインの供用を開始した。これに伴い、2000A共同利用期間のうち4月から6月中旬における利用について追加募集した。これらのビームラインの利用研究課題の選定結果について報告する。

1. 課題選定日程

平成11年11月12日 公募についてプレス発表及びSPring-8ホームページに掲示
平成12年 1月22日 公募締切(郵送の場合消印有効)
平成12年 3月 2日 課題選定委員会にて選定
平成12年 3月 6日 選定結果を実験責任者に通知

2. 選定結果

今回の追加募集では、これらの2本のビームラインが立ち上げ直後であることから、ビームラインの立ち上げ調整に資する課題を優先して選定することとした。これらのビームラインは平成12年4月から供用が開始されたことから、2000A共同利用期間に

おいて110シフトのビームタイムが配分された（1シフトは8時間）。

高フラックスビームライン（BL40XU）では、13課題の応募があり、そのうち10課題が選定された。選定率は約77%である。選定された課題の平均シフト数は11シフトであり、最も多く割り当てられた課題では27シフトとなった。

一方、赤外分光ビームライン（BL43IR）では、応募された12課題が全て選定され、平均のシフト数は約9.2シフトとなった。最も多く割り当てられた課題では23シフトが配分された。

研究分野別に選定された課題数は、高フラックスビームラインでは、生命科学が7課題、散乱・回折が1課題、分光が1課題、そして実験技術・方法が1課題であった。赤外分光ビームラインでは、生命科学が1課題、分光が9課題、実験技術・方法が2課題であった。

両ビームラインを合わせた今回の追加募集での所属機関別の選定数は、大学15課題、国立研究所1課題、特殊法人2課題、財団法人4課題という結果であった。

2000A利用研究課題追加募集選定課題一覧

課題番号	実験責任者	所 属	分 野	ビームライン	シフト数
2000A0435-NS	-np 桜井 健次	科学技術庁金属材料技術研究所	分光	BL40XU	21
2000A0445-NL	-np 佐々木裕次	(財)高輝度光科学研究センター	生命科学	BL40XU	6
2000A0447-NOM	-np 浅野 芳裕	日本原子力研究所	実験技術	BL40XU	9
2000A0450-NL	-np 八木 直人	(財)高輝度光科学研究センター	生命科学	BL40XU	21
2000A0452-NL	-np 柊 弓絃	京都大学	生命科学	BL40XU	3
2000A0453-NS	-np 森脇 太郎	(財)高輝度光科学研究センター	分光	BL43IR	23
2000A0454-NL	-np 岩本 裕之	(財)高輝度光科学研究センター	生命科学	BL40XU	3
2000A0455-NL	-np 足立 伸一	理化学研究所	生命科学	BL40XU	10
2000A0456-NS	-np 篠田 圭司	大阪市立大学	分光	BL43IR	10
2000A0457-NS	-np 福井 一俊	分子科学研究所	分光	BL43IR	10
2000A0458-NL	-np 和泉 義信	山形大学	生命科学	BL40XU	4
2000A0459-NS	-np 中川 英之	福井大学	分光	BL43IR	6
2000A0462-NS	-np 岡村 英一	神戸大学	分光	BL43IR	6
2000A0463-NS	-np 岡村 英一	神戸大学	分光	BL43IR	10
2000A0464-NL	-np 三好 憲雄	福井医科大学	生命科学	BL43IR	6
2000A0465-NS	-np 近藤 泰洋	東北大学	分光	BL43IR	4
2000A0466-NS	-np 近藤 泰洋	東北大学	分光	BL43IR	14
2000A0467-NM	-np 桜井 誠	神戸大学	実験技術	BL43IR	9
2000A0468-NM	-np 桜井 誠	神戸大学	実験技術	BL43IR	6
2000A0469-NS	-np 難波 孝夫	神戸大学	分光	BL43IR	6
2000A0470-NL	-np 片岡 幹雄	奈良先端科学技術大学院大学	生命科学	BL40XU	27
2000A0471-ND	-np 竹中 幹人	京都大学	散乱・回折	BL40XU	6